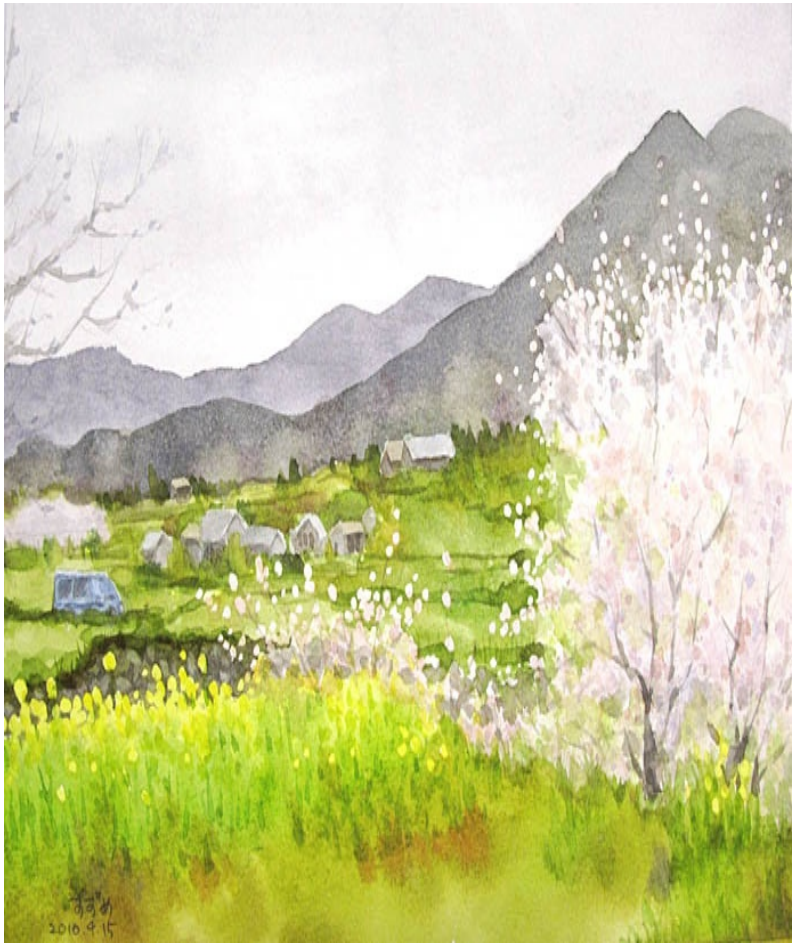
平成２４年度

研究のあゆみ



秋田県公立小中学校事務職員研究協議会

２４年度「研究のあゆみ」

目　　次

Ⅰ研修部報告

１．事業報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．平成２４年度　主任研修会
　　要項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
　　アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

３．第７回秋田県公立小中学校事務職員セミナー
　　要項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
　　アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

Ⅱ各地区研究会活動報告

１．鹿角小中学校事務研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
２．大館北秋田学校事務研究会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
３．能代市山本郡学校事務研究協議会・・・・・・・・・・・・・・・１０
４．男鹿市公立小中学校事務研究会・・・・・・・・・・・・・・・・１１
５．潟上市南秋田郡公立小中学校事務職員会・・・・・・・・・・・・１２
６．秋田市立小中学校事務研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
７．本荘由利小中学校事務研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
８．大曲仙北学校事務研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
９．横手市小中学校事務研究会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６
１０．湯沢雄勝小中学校事務研究会 ・・・・・・・・・・・・・・・・１７

Ⅲ研究部報告

１．研究部活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

平成２４年度「研修部」事業報告

６月２３日　　第１回研修部会　　於：秋田市北部市民セービスセンター
＝「キタスカ」

２３年度事業報告と２４年度事業計画について
これまでの研修部のあゆみについて
研修体系について
平成２４年度主任研修会について（企画・運営）
第９回秋田県公立小中学校事務職員セミナー について(構想、企画）

８月７日～８日　２４年度主任研修会開催　　於：ユースパル

９月１０日　　第２回研修部会　　於：キタスカ

２４年度主任研修会について（反省）
２４年度実施　第９回事務職員セミナー について(構想、企画）

１１月２２日　第９回秋田県公立小中学校事務職員セミナー
於：県総合教育センター

２月６日　　第３回研修部会　　於：キタスカ
２４年度事業報告と２５年度事業計画（案）について
２５年度主任研修会について（日取り、内容）
「研究のあゆみ」発行について

３月　　「研究のあゆみ」完成　　ホームページ上

〰〰〰

平成２４年度　秋田県公立小中学校事務職員　主任研修会　要項

１．目　的　　職務に関する法令等を学ぶと共に職務遂行に係るコミュニケーションスキルを高める。

２．主　催　　秋田県公立小中学校事務職員研究協議会

３．共　催　　秋田県教育委員会

４．日　時　　平成２４年８月７日（火）午前１０時～午後４時
平成２４年８月８日（水）午前１０時～午後４時２０分

５．会　場　　秋田県青少年交流センター　ユースパル　　（秋田市）

６．日　程　　平成２４年８月７日（火）

・開会行事　　１０時～１０時２０分

・講話　「秋田県の財政事情について」
講師　秋田県教育委員会　教育次長　粟津　尚悦　氏
１０時３０分～１１時１０分

・義務教育課からの連絡　　１１時１５分～１１時３０分

・昼　食　　１１時３０分～１２時３０分

・講義Ⅰ「誰とでも効果的なコミュニュケーションをとる方法」
１２時３０分～１４時３０分
講師 テルウエル東日本株式会社　植野　のり子 氏

・グループディスカッション （体験共有、情報交換）
１４時４０分～１６時

平成２４年８月８日（水）

・講義Ⅱ「年金制度の体系と概要」
１０時～１２時
講師 金融広報アドバイザー　齋藤　廣勝　氏

・昼　食　　１２時～１３時

・講義Ⅲ「施設･設備の維持管理について」
１３時～１４時
講師　秋田県教育庁総務課施設整備室　副主幹　池田　公幸氏

・講義Ⅳ　「公務災害（通勤災害）について」
１４時１０分～１５時４０分
講師　秋田県教育庁教職員給与課　主幹　高橋　弘昭　氏

・感想発表　アンケート作成　　１５時５０分～１６時１０分

・閉会行事　　１６時１０分～１６時２０分

主任研修会アンケートのまとめ

【コミュニケーション】

・楽しい雰囲気で良かったです。
・アサーティブな対応は、すぐにでも実践したいと思う。
・自己概念のチェックはとてもおもしろく、客観的に自分を見ることができた。

【ディスカッション】

・事前にテーマなどを知らせていたことにより、話し合いがスムーズに進んでいたと思う。
・付箋やペンの用意がされていてよかった。
・同年代の事務職員で、職そのものについて話す機会がめったにないので、色々と話すことができてとても良かった。
・話し合うという過程に大きな意味があったのだとは思うが、発表後に何もなく終わってしまったのが惜しい。
・テーマがあいまいすぎて方向性が最後までつかめなかった。もっと具体的なテーマであれば盛り上がったと思う。

【年金制度】

・ずっと勉強したいと思っていたので良かった。遺族年金等については、個人的にも知りたかったところなので、ありがたかった。仕事だけでなく、今後の生活設計にも役立つ研修だった。
・先生方がいちばん気になっている内容で、学校で研修してほしいようなお話しでした。
・内容はわかりやすかった。ただ、資料のグラフの色分けがわかりにくかったのが残念。

【施設・設備】

・施設設備の維持管理は、予防保全と計画修繕だと伺い、修繕が必要になってからではなく、必要になる前の日常の点検をもっとしっかりしなくてはいけないと痛感しました。
・管理のポイントが分かったので良かった。ただ…、午後のあの時間にもってこられるとつらいので別の時間帯に設定すれば助かるかもしれません。
・できれば小中学校の施設・設備の維持管理にあった内容のものにしてほしい。

【公務災害】

・実例が多く紹介されていたのがよかった。
・手続きの経験はありませんが、基本的な考え方等がわかりよかったです。
・具体的な事例をもう少し聞けるとありがたかったかなと思う。

【企画・運営】

・長期休業中に2日間みっちり研修は悲しい。

・二日間続けて学校を離れることに抵抗があるので、一日の日程で年2回とかにしてもよかったのでは？
・時期は冬よりいいと思う。
・期日は、いつにしてもそれなりに不満な人も都合の良い人もいるので、仕方ないと思います。
・夏休みでよかった。（去年の10月よりは）
・夏休み中とはいえ、2日間学校をあけるのは少々きびしいものがあるのですが、実際に研修を受けてみて、内容を1日に縮めるのも難しいと思いました。
・2日間の開催であれば夏季休業中が参加しやすいと思います。
・開催期日はもう少し検討してください。夏休み中もいいのですが、いろいろ計画もありました…。
・開催期日は、夏休み中でない方がありがたいと思った。一番休みやすい時期だったので、旅行を予定していたがキャンセルしたので…。
・開催期日ですが、夏休みの前半 7月中が良いのではないかと思いました。
・開催期日をもう少し早めに知らせてほしかった。夏季休業を入れて旅行の計画をすでに立てていたので。
・夏休み中なので、学校は出やすかったのですが、家族サービスのあった方々はどうだったのでしょうか…。
・夏季休業中なので、比較的学校をあけやすい時期でよかった。
・夏休みなので2日間、あまり学校を気にせず参加することができた。
・夏休み中が、研修に来やすくてよかった。
・ユースパルに宿泊する人がすくなかったので、強制宿泊にしてもらえれば、夜の交流もできたと思う。
・会場は駐車場も多いのでユースパルでよいです。
・会場が寒かった。
・総合教育センターよりも近くてありがたかった。(早く着いてびっくりした…)
・昨年は県センター，ユースパルだったらしいが、今年はユースパル2日間で宿泊可能だったので良かった。
・県センター2日間で宿泊タダでも良いのでは？！
・ユースパルのお弁当、高くないですか？
・当日のユースパルの空き状況をみて弁当でなく日替わり定食など食べたかった…。

・研修担当の方々の準備のおかげで、日程が予定どおりに進んでいたのでよかった。感謝！
・内容の充実した研修会を企画していただいた研修部の皆さま、ありがとうございました。お疲れ様でした。
・受講者にもっと話をさせる機会を与えてもよかったと思う。講話後の質疑をたくさん出させる工夫をしてほしい。
・内容は充実していて、参考になるものばかりでした。
・ただすわってきいているのはつらいので、グループディスカッションや実務？などがもっとあればいいと思う。
・できれば事前に名簿をくだされば、もっと交流を深めることもできたかもしれません。
・座学ばかりではなく、2日目もグループディスカッションがあれば、せっかく久しぶりに集まったので悩みなど話できたかも？！と思います。
・参加者名簿についてですが、最初に要項と一緒に教えていただければと思います。同期の方も多く、なかなか会えない人もいるので、この機会に交流を少しでも深めたかったです。
・有意義な研修を企画，運営していただき、ありがとうございました。
・グループディスカッションで模造紙等の準備など、すごく細かいところにも配慮があった。この研修のためにいろいろな話し合い等大変だったと思います。本当にご苦労様でした。
・講義の時間もお昼の時間もゆとりがあり、おちついて研修を受けることができました。
・グループディスカッション的なものが、もっとあってもよかったかな…と思った。

【感想】
・出席する前は本当に出たくなかったが、いい内容を選んでくださったなという感じ。
・明日から活かせる内容の研修でした。活かす活かさないは自分の手腕ですが、できるところからはじめたいです。…座りっぱなしで腰が痛かったです…。
・なかなか実務に追われ、2日間の講話をゆっくりと聞いたりする時間もなく貴重な2日間でした。ありがとうございました。講師の方々、内容とも素晴らしかったかったです。
・色々と工夫されていて、最初は面倒だと思っていましたが、充実した2日間を過ごすことができました。ためになりました。ありがとうございました。
・たいへん勉強になりました。どうもありがとうございました。
・2日間とても充実していて、明日からまた頑張ろうと思いました。お世話になりました。ありがとうございました。

第９回　秋田県公立小中学校事務職員セミナー要項

１．目　的　　時代のニーズにあった事務職員像の構築を目指し、その研修を深める。

２．主　催　　秋田県公立小中学校事務職員研究協議会

３．後　援　　秋田県教育委員会

４．日　時　　平成２４年１１月２２日（木）午前１０時２０分～午後４時１０分

５．会　場　　秋田県総合教育センター（潟上市）　２階　講堂

６．日　程

・受　付　　１０：００～１０：２０

・開会式　　１０：２０～１０：５０

Ⅰ「福利厚生制度について」
秋田県教育庁福利課　主幹　石川清二

１１：００～１２：００

・昼　食　　１２：００～１３：００

Ⅱ 講　演 「新しい教材整備計画について」
日本教材備品協会　専務理事　竹内宗一郎
（JEMA）
１３：００～１４：３０

Ⅲ全国、東北研究大会発表報告　　１４：４０～１５：４０
事務職員研究協議会　研究部

・閉会式　　１５：５０～１６：１０

事務職員セミナーアンケート結果

【内容について】 概ね好評だった。福利課のお話は具体的な例もあげていただきわかりやすく、今後の見通しなども聞けてよかったということと、扶養認定や年金、処理上の注意点など実務に即した話を聞きたいという次回への要望とがあった。質疑応答の時間設定も要望があった。

JEMAの講演は、新しい教材のデモが大変興味深く参考になった、という回答が多かった。時期的にもっと早ければ予算要求に生かすことができたという声があった。

研究部の全国大会の発表やグランドデザインについても聞くことができ、大変よかった。

北	事務職員	福利厚生の制度についてよくわかりました。（臨時なのでこういうのがほしかったです）
中央	主任	福利課　全体の内容が聞けてよかったですが、学校とのやりとりの中で「こういうことに気をつけてほしい」等、注意点があれば、それも聞きたかったです。
中央	主査	見識を深めるという点で、教材の話は良かった。ただ講演時間は６０分でよい。
南	主任	文部省策定の教材整備計画について、タイムリーな情報を得ることができた。予算要求は報告済みだったためもう少し早く知りたかった・・・という気もします。 福利厚生の事業、給付等、今後の変更点を詳しく説明していただき参考になった。
南	主任	教材整備について、身近なものから整えられるように数量等を明示して予算要求に持っていく。具体的に進めるきっかけをいただけてよかったです。
北	主任主査	福利厚生の制度についてお話を聞く機会がなかったので、よかった。次はもっと実務的な内容について説明していただければと思う。内容の濃い研修会でした。
中央	主任主査	教材整備について、授業の単元にどんな備品があればいいか、事務職員側から教員に提案していくことが必要と考えた。
中央	統括事務長	Ⅰこれまでの復習・現状・これからの予習が１時間でできたような感覚になった。 Ⅱお恥ずかしいのですが、知らないことがたくさんあり、反省させられました。 Ⅲ２つともすばらしい内容でした。敬意を表します。 ※地域とのネットワークづくり、自分にできることが見つかりません。
南	主査	業務に必要な専門的研修をもっと取り入れてほしい。 全国大会の発表は参考になりました。業務に生かせれば・・・と思いますが、なかなか難しいと思います。
南	主査	教材整備計画　国としての大きな流れと予算獲得のために現場の把握が大切なことを改めて感じました。市町村によっても温度差があるので、客観的なデータの提示の必要性も感じました。予算要求が１１月上旬あたりで終わるので、もう少し早く話を聞くことができたらよかったかな・・・

南　　主査　　全国大会の発表を拝聴することができてよかった。

【開催時期】　よいという意見が多かった。

「繁忙期と積雪の多い時期以外を希望します」という意見に集約される。

「もう少し早ければ雪の心配をしなくてもよい」という声もあったが、その時期は年末調整や予算要求で忙しく、それより前は学校行事が立て込んでいる。地域によっては予算要求の時期と重なり厳しかった地区もあるようだが、この時期でよいのではないか。少数ながら「夏休み中」という希望もあった。

【会場について】総合教育センターでよいという意見がほとんどだった。

設備も整っており、駐車場も確保されている。ただ、今回「会場が寒かった」という声があり、特に昼食時は寒かったようだ。暖房の効率と参加人数を考慮するとセンターの他の部屋か別の会場でもよかったのではないか、という意見があった。

※今回の人数（120～130人程度）の参加者で教育センター利用となると収容できるのは講堂しかないようです。

【その他】　閉会式までの時間を短縮して早く始めてほしいという意見が複数あった。

中央　主任主査　全国大会の研究を更に深めてほしい。

中央　５年未満　学校事務は過渡期にあり、今後のあり方について興味があります。
グランドデザインの活動に今後も注目したいと思います。

北　　主査　　アスモプラン、事務職員として元気がもらえるようなプランだと思いました。

中央　主任　　共同実施校より実例を交えての情報等を内容に加えてもいいのでは？

北　　主査　　やはり業務上関わりの深い県義務教育課、教職員給与課、福利課の方々から話を聞ける機会があると、とてもありがたいです。
企画、運営大変だと思います。お疲れ様でした。

中央　主任主査　「新しい教材整備計画について」は、校長会、教頭会など教える立場にある先生達にも機会があれば紹介してほしいと思いました。

南　　主任主査　何故、このような会にもっと参加者が増えないか不思議である。職場が多忙なせいか、事務職員の意欲が低いせいか考える必要があると思う。

中央　主任主査　グランドデザインの説明がとてもわかりやすく、よかった。
将来像の提案、よろしくお願いします。

北　　主任　　座っているだけ、聞いているだけでなかなか辛いですが、内容は面白かった。
意識を持って、また仕事に取り組みたい。

中央　主任主査　参加者がもっとたくさんであれば良かったです。今回参加できなかった人は、参加していれば良かったと後悔するくらい良いセミナーだったと思います。

平成２４年度　鹿角小中学校事務研究会　活動報告

１．活動の柱

1　会員の研究･研修の充実をはかる

①　研修会の実施
- 夏季研修会（8月頃）
- 冬季研修会（2月頃）

②　広報の充実
- 広報の発行
- 研究紀要の発行

③　PC 活用の推進
- 備品台帳データベースソフトの維持管理
  情報管理セキュリティー対策についての取り組み

④　事務の共通化の推進
- 事務の共同実施の充実を図る
- 鹿角小中学校事務の手引きの見直し
- 実務に関する効率化の研究･
- 服務関係諸様式の作成
- 秋田県公立小中学校事務の手引き追録に関する検討
- 事務処理情報の提供

2　会員相互の交流親睦をはかる諸事業の実施

２．活動内容

１　夏季研修会　　平成２４年８月３日（金）　大館市交流センター
- 鹿角市板事務の手引きの見直し（研究部）
- 共同実施情報交換・部別協議・市町別協議
- 県評議員会報告・専門委員会報告　等
- 大館北秋田事務研究会と合同研修（午後から）

２　冬季研修会　　平成２５年２月８日（金）　大湯ストーンサークル館
- あきた県庁出前講座　「世界遺産について」
- 年度末・年度初めの事務処理の留意事項について（研究部）
- 共同実施情報交換・部別協議
- 講話

３　研究紀要　第２２号発行

大館北秋田学校事務研究会

◇研究活動報告

□研究テーマ

「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」～子どもたちに届けよう 事務職員の力を～

□研究体制について

研究会の基本は組織研究であり、一人ではできないことを進めていくのがその組織でもあります。このような流れの中から、４つの研究班を設置し、２年継続の研究を進めている。

□研究組織と研究概要

◎保護者負担軽減研究班

各校の集金計画等を持ち寄り、改善箇所等を検討。負担軽減の方策を実行するための手立てを考え、24年度末から25年度初めにかけて実践し、その結果から今後の方策を探る。

◎地域支援本部研究班

「学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整える」ことを目的とした本事業。１年だけではなく何年にもわたってスムーズに運営していけるように、事務職員にできることを考え、学校や地域の一員として子ども達の成長に携わっていく道を探る。

◎事務処理の効率化研究班

給与や旅費業務は電算化が進み、業務内容の統一化が進んだ。しかし、私費会計等、事務職員や教員が、各自の方法で対応している業務も多い。これらを統一し、事務処理効率化や負担軽減につなげるため、今年度はおもに学級・学年会計処理の統一化に向けた協議を重ねた。

◎避難所機能対応研究班

東日本大震災の教訓を活かした対策や各市の防災マニュアルについて、情報交換をおこない、避難所としての学校の役割や教職員の対応を話し合った。また、災害時に役立つよう、外部の人に学校の設備等について説明できる資料（学校取扱説明書）の作成をめざす。

◇研修活動報告

・今年度の研修活動としては、年２回の研究大会と夏季研修会の研修部分の企画・運営でした。第１回研究大会では「教員特殊業務手当３号業務について」と「合川地区小学校の統廃合について」と題して、話題提供（実践発表）と、その後の意見交換についての司会進行を行いました。教員特殊業務手当の３号業務について実例や条例等から、どう判断すべきかについてや、小学校の統廃合についての実際の事務作業を通じて、日頃事務処理をする上で心がけるべきことなどについて、話されました。
夏季研修会では鹿角地区と合同で、「コミュニケーション・トラブルの対応（クレーム）」と題して、テルウェル東日本の植野のり子氏を講師に、クレーム対応について研修を行いました。実際にグループに分かれて演習も行いながら、トラブルになりにくい対応やトラブル（クレーム）に対してどのように対応していくべきかについて、講義を受けました。
第２回研究大会では、今年度末でご退職される先生より講話をいただきました。講話では、学校事務職員として、また、社会人としての考え方などについて話していただきました。

平成２４年度　能代市山本郡学校事務研究協議会　活動報告

【研究テーマ】

日常業務を支える研修と学校間連携

【第１回　研究会】

＜話題提供＞　能代第一中学校　主任主査　織田弘

・事務職員の制度・定数及び国の予算関係

・年金と退職金の問題

・PTA 費等の流用問題

＜協議＞

・職員向けの提案・説明資料について　事前に収集した資料を基にグループで協議

【第２回研究会】

＜講義＞

・公的年金制度の行方　　教職員共済秋田県事業所事務局長　遠藤元也　氏

＜講話＞

・山本中学校　　統括事務長　柏谷一郎

・能代東中学校　　統括事務長　大石俊雄

【各部の活動】

＜情報部手引班＞

・「学校事務の手引き」の病気休暇、職専免、週休、勤務時間に関する事務を担当

＜情報部パソコン班＞

文書の PDF 化による利活用について研究

HP のデザイン等の検討

＜情報部広報班＞

広報「クリップ」第１号・第２号発行

研究集録「あゆみ」発行

＜研修部＞

・郡市内を５つの実務研修班に分け、班ごとに研修会を開催。

・事務指導、年末調整の時期に開催した班が多かった。年末調整の変更内容と書類作成の確認、職員向けの共通資料作成のよい機会となった。

・臨時職員等の支援にあたった班もあった。

平成２４年度　　男鹿市公立小中学校事務研究会　活動報告

１．今年度の研究テーマ

「学校の基幹スタッフとして学校経営に資する学校事務の在り方を求めて」
～実務研修を通して個々のスキルアップを図り、
事務職員としての存在意義を高めよう～

２．今年度の主な活動について

○　５月２３日（水）男鹿市校長会研修部事務部会研修会
１４：００～１６：４０
・本年度研究テーマの確認及び研究計画について
・給与、旅費システムマニュアルについて
・年度末・年度初めの事務について

○　７月　６日（金）男鹿市公立小中学校事務研究会
１４：００～１６：４０
・「期末勤勉手当」計算の研修
・諸手当の現況確認、特別認定者（共済）の確認について
・「市学校事務の手引き」の追加・訂正等について

○１１月１４日（水）男鹿市校長会研修部事務部会研修会
１４：００～１６：４０
・諸手当認定、旅費の事務指導をうけての事後研修
・秋田国家石油備蓄基地の見学と説明

○　１月１１日（金）男鹿市公立小中学校事務研究会
１０：００～１６：００
・各校における学校納金の現状と課題について
・「市学校事務の手引き」の追加・訂正等について
・「人事評価」の目標について
・「わたしの実践」発表
・講演「保険・年金・資産運用などについて」

○　１月２５日（金）男鹿・潟上南秋事務研合同研修会
１３：３０～１６：３０
・教職員給与課からの説明（扶養手当・旅費）
・教育公務員弘済会事業説明
・博物館見学

○　２月２６日（火）男鹿市公立小中学校事務研究会
１４：３０～１６：４０
・市教委指示連絡（年度末事務処理等について）
・本年度事業の反省と次年度への課題について

３．今年度を振り返って

・今年度は１１月の研修会を男鹿南中で開催し、さらに石油備蓄基地の見学と例年にない研修ができた。また、潟上・南秋との合同研修会も開催することができた。男鹿市支部の会員数の減少に伴ってこれからも広域での研修が必要となると思う。来年度は男鹿市が担当ということになる。

平成２４年度　事業報告

潟上市・南秋田郡公立小中学校事務職員会

研修テーマ　　学校運営を担う一翼としての実践・定着・発展
～事務職員の資質向上をめざして ～

＊教育研究会全体会４月１８日（水）羽城中学校

期　日	事　業　名	場　　所	内　　容	指導助言者	懇親会
4月13日 (金) 午後	総　会	昭和公民館	・前年度事業報告・決算承認 ・今年度事業計画・予算審議 ・役員選出他		
7月6日 (金) 午後	第１回協議会	秋田県総合教育センター	・給与旅費事例検討 ・ＰＣフォルダの活用 ・閉校・移転に伴う作業		○
9月7日 (金) 午後	潟上市・南秋田郡 事務職員部会 (第2回協議会)	昭和公民館	・学校事務支援体制 ・全国大会報告 ・小玉醸造・ブルーホール見学		
11月2日 (金) 午後	第３２回 学校事務研究会 (教科等研究会)	井川中学校	・ＰＣフォルダの活用 ・事務指導報告 ・学生協説明・井川中見学		
1月25日 （金） 午後	第3回協議会 男鹿･潟上市･南秋田郡 中央地区合同協議会	秋田県立博物館	・給与課より ・弘済会説明 ・博物館見学	岡田主査 板橋主任	
3月1日 (金) 午後	第４回協議会	潟上市昭和公民館	・ＰＣフォルダの活用 ・反省・事業 ・ご退職者から		

3月22日 (金)	監査会 役員会	潟上市昭和公民館	会計監査 総会議案審議等		

［ 関 連 事 業 ］
・全国公立小中学校事務研究大会茨城大会　８月２日(木)～３日(金) つくば市（つくば国際会議場）
・主任級研修

平成24年度　秋田市小中学校事務研究会　研修部のまとめ

平成２４年５月２４日（木）

○第１回事務研修会：遊学舎

・部会研修会（研究部・広報部・厚生部）年間事業計画、役割分担

・支部研修会（東・西・南・北）の研修計画

平成２４年９月１３日（木）　秋田市教育研究所

○第２回事務研修会

・条例改正のまとめ（前期分）

・全体研修会　全国大会発表者内容伝達

・各支部研究会報告

・各委員会活動報告

・分科会討議　新たな予算　・・・メール配信、修学旅行見学費

きらめきプラン・・・支出例の紹介

就学援助事務　・・・小学校学年費や手続き

手数料予算　・・・支出例の紹介

平成２４年２月　８日（金）　秋田市教育研究所

○第３回事務研修会

・条例改正のまとめ（後期分）

・各支部研修会報告

・各委員会活動報告

・グループ討議　就学援助事務へのかかわり・・・分業する中で不都合な出来事

学校納金の還付方法・・・還付件数が多い場合の対処、対応

旅費や支出伝票での指導事項・・・指導を受け共有したい事例

市職員の庶務取り扱い・・・職種を問わず、まれな事例の紹介

平成２４年度　本荘由利小中学校事務研究会活動報告

１　研究主題　「子どもの確かな学びと豊かな育ちを支援する学校事務」

（１）　主題について

昨年３月の東日本大震災以後社会は大きな変化を求められており、その中にあって、学校と地域の関係が改めて問われるようになってきています。国では学校と地域の連携を教育施策の中心的な柱とし、社会の意識変化を踏まえながら今後の学校運営改善施策を講じようとしております。地域と連携した学校教育の重要性がますます高まってきています。地域と連携した子どもたちへの教育を一層充実していくためには、これまで以上に質の高い教育が求められています。また、質の高い教育のためには質の高い学校事務も求められています。学校は子どもたちの発達を助ける場であり、そこに働く事務職員はその目的を達成するために職務や役割を通して子どもの生活の場としての環境や、学校目標達成のために設定される教育活動がスムーズに遂行されるよう条件整備を推進し、支援していくことが重要であると考えます。

（２）　研修の進め方

研修部内の５つの委員会、研修委員会・情報委員会・第１～３研究委員会による、研究テーマ、研究方針に沿ったそれぞれの研修、研究を進める。

２　本年度の歩み

４月１３日　本荘由利教育研究会学校事務部総会　　ホテルアイリス
- ２３年度事業報告，決算報告
- ２４年度事業計画，予算審議
- 役員改選

５月３０日　第１回理事会　　本荘由利教育会館
- 事業計画、各部・各委員会の事業計画

９月１２日　第２回理事会　　本荘由利教育会館
- 本荘由利小中学校事務職員研修会、
  本荘由利教育研究会学校事務部研修会内容検討

１０月１２日　本荘由利小中学校事務職員研修会　　ボートプラザアクアパル
- 省エネ情報説明会
- 県監査員事務局監査について
- 全国大会参加報告

１２月　７日　本荘由利教育研究会学校事務部研修会　　安楽温泉
- 第１～３研究委員会研究報告
- 各部活動報告
- 共同実施について

２月　８日　第３回理事会　　本荘由利教育会館
- 今年度の反省，来年度の事業計画

３　成果と課題

１２月に開催した学校事務部研修会で第１～３研究委員会の研究報告がありました。共同実施や学校間連携についてなどの情報を得ることができ充実した研修会となりました。来年度もさらに充実した研究を進めていきたいと考えています。

平成２４年度　大曲仙北学校事務研究会研修部事業報告

今年度の主な事業内容

○　第１回研修部会　　６月１日(金)：仙北教育会館
協議内容・今年度の研修テーマを決定
「時代の変化に共に対応できる学校事務を目指して」
・今年度の研修内容検討

○　第２回研修部会　　７月３日(火)：仙北教育会館
協議内容・夏季研修会細案確認

○　大曲仙北学校事務研究会夏季研修会　　７月３１日(火)：仙北ふれあい文化センター
□　研修　「学校事務の共同実施について」

○　第３回研修部会　　９月２５日(火)：仙北教育会館
協議内容・秋季研修会細案確認　・冬季研修会の研修企画検討

○　大曲仙北学校事務研究会秋季研修会　　１０月２６日(金)：仙北教育会館
□　研修Ⅰ　【グループ討議】学校集金（自動払込）について
□　「学校事務の共同実施の目的と必要性について」
秋田県公立小中学校事務職員研究協議会　副会長　茂野正信　氏

○　第４回研修部会　　１１月２７日(火)：仙北教育会館
協議内容・冬季研修会細案確認

○　大曲仙北学校事務研究会冬季研修会　　１２月１４日(金)：県立農業科学館
実務研修　【給与・旅費に関する特殊事例について】

平成２４年度　横手市事務研 研修部事業報告について

昨年度に行った各部の役割分担の見直しにより事業内容が変更になっておりますが、今年度研修部では①～④を柱に活動を行いました。

①事務だよりの発行

昨年度まで横手市Ⅰ～Ⅲ区で発行していた「事務だより」を研修部が担当しました。

今年度の主な内容は、「有給休暇の活用」「復命書の提出基準」「クールシェア・節電対策」「学校での製品事故防止」「年末調整」「給料・諸手当（給料カット、寒冷地、期末勤勉手当）」となっています。タイムリーで視覚に訴えるような事務だよりを目指して発行しております。

②条例改正等の情報提供

２４年度に行われたの条例改正等の内容をまとめを研究大会等を通じて会員にお知らせしました。パブリック（ファイル共有サーバ）にも保存し、各自がいつでも事由に活用できるようになっています。

③県・県南の「事務の手引き」の発行

研修部より担当を１名派遣し、手引きの訂正・変更箇所の検討を行いました。

④実務研修・研究大会の企画，運営及び発表

今年度は実務研修会的な内容なる横手市教育推進委員会事務研修会では給与課職員による「給与旅費支払い伴う諸手当認定のポイント」、市危機管理室職員を交えての「災害時における避難所としての学校施設の課題」、つくばの研修報告となる「共同実施並びに学校組織マネジメント」についての企画運営（一部発表）を行いました。

研究大会では全国事務研の参加報告をはじめ、「沖縄県への派遣教員の服務給与等について」「教育センター研修員等の高速道路利用の通勤手当、旅費について」「扶養に関する事例の紹介」「学校統合での事務職員の関わり」等について企画運営し研修を深めました。

☆まとめ

我々学校事務職員はスピーディーかつ正確な事務執行や対応が日常業務で求められとともに、学校事務の共同実施や学校組織マネジメントに係わる対応も求められています。そういった日常業務や新たな対応への下支えとなるような事業展開を目標に今後も活動を行っていきたいと考えています。

平成２４年度　湯沢雄勝小中学校事務研究会　研修部のまとめ

平成 24 年 5 月 16 日(水)　三関地区センター
　○第 1 回全県大会分科会発表班会議
　○二部一委員会合同会議（第 1 回研修部会）

平成 24 年 6 月 13 日(水)　雄勝教育会館
　○第 2 回研修部会
　○第 2 回全県大会分科会発表班会議

平成 24 年 7 月 26 日(木)　ふるさとふれあいセンター
　○第 3 回全県大会分科会発表班会議

平成 24 年 7 月 27 日(金)　湯沢東小・北中学校
　○夏期研修会
　　(1) 研修Ⅰ：湯沢市出前講座【安全・安心のための学校給食環境整備事業】
　　講師：湯沢市教育委員会 金澤 主事
　　(2) 研修Ⅱ：実務研修【例月給料から年末調整までの流れ】

平成 24 年 12 月 5 日(水)　雄勝教育会館
　○第 3 回研修部会

平成 24 年 12 月 26 日(水)　ふるさとふれあいセンター
　○第 4 回全県大会分科会発表班会議

平成 25 年 2 月 8 日(金)　湯沢グランドホテル
　○第 44 回事務研究大会
　　(1) 研修Ⅰ：平成 25 年度全県大会中間報告
　　(2) 講 話 ：「後輩に伝えたいこと」
　　講師：稲川中学校 熊谷 統括事務長,
　　羽後中学校 井上 統括事務長
　　(3) 研修Ⅱ：「秋田県における学校事務の共同実施の概要について」
　　講師：由利本荘市立出羽中学校 茂野 統括事務長
　　(4) 研修Ⅲ：ワールドカフェ形式によるグループディスカッション
　　「これからの学校は？　これからの学校事務は？
　　あなたの声『あなたびじょん』を聞かせてください！」

平成 24 年度 「 研 究 部 」 事 業 報 告

1“ 学校評価システムの構築と学校事務機能 ”に関する研究発表

8 月 2～3 日に開催された第 44 回全国公立小中学校事務研究大会茨城大会第 1 分科会において標記の発表を行った。この第 1 分科会は東北地区担当で、分科会テーマを「学校づくり・人づくり」とし、本県と岩手県、宮城県の 3 県が発表した。

この研究の根底となるのは、事務職員が、“ 学校評価から何ができるかを見つけ出す ”という取り組みを続けることで、事務職員としての力が養われ、さらなる向上につながるのではないか、という思いである。事務領域に関する評価項目の有無にかかわらず、事務職員として積極的に改善に関与しうる要素を、学校評価結果の中から見つけ出す力を養うことは、すなわち学校評価をとおして「学びを支援できる力を養う」ことに他ならないと思われる。

「学校評価」は今次研究大会の特集テーマであったが、本県は、このテーマに真正面から取り組んだ数少ない県の一つであり、これを評価する声も多く聞かれた。学校評価に関することは今後ますます重要視されていくと思われ、県内各支部の中堅事務職員がこの研究に取り組んだことは、秋田県の大きな財産になると思う。

2“ 秋田県版グランドデザイン ”の研究

グランドデザインの基本となる考え方を 23 年度の全県事務研大会において紹介した後、全県を対象にアンケート調査を実施した。そこに寄せられた様々な意見は、秋田県の教育現場に働く「学校事務職員の思い」であり、示唆に富む内容で、非常に参考になった。

東北地区学校事務研究大会岩手大会においては、これまでの研究経過について発表し、多くの質問・意見が寄せられた。

全県事務職員セミナーにおいては、前述の“ 学校評価システムの構築と学校事務機能 ”の再度の発表を行った後、“ 秋田県版グランドデザイン ” のビジュアル版「 Asumo Plan」を紹介した。形ができたことにより、更なる意見が寄せられ、研究が深まっていくものと期待される。

活動日程

6 月 8 日	第 9 回研究部発表委員会
6 月 11 日	第 1 回研究部会
6 月 22 日	東北地区研究担当者会
6 月 29 日	研究部発表委員会打合会
7 月 10 日	第 10 回研究部発表委員会
7 月 18 日	全国事務研大会発表リハーサル
7 月 26 日	第 11 回研究部発表委員会
8 月 2～3 日	第 44 回全国公立小中学校事務研究大会茨城大会
10 月 1 日	第 2 回研究部会
10 月 4～5 日	東北地区学校事務研究大会岩手大会
11 月 7 日	第 12 回研究部発表委員会
11 月 22 日	全県事務職員セミナー、第 3 回研究部会
2 月 8 日	東北地区研究担当者会
3 月 13 旬	第 4 回研究部会